

第3回議会報告会の報告書



2011年10月

内容

- 1) 町の決算の認定
- 2) 地震・津波アンケート結果
- 3) 浜岡原子力発電所への対応

1. 開催日時・場所

10月21日	午後7時から	片岡会館	参加者25名
10月24日	午後7時から	自彊館	参加者26名
10月25日	午後7時から	住吉会館	参加者22名
10月26日	午後7時から	川尻会館	参加者22名

2. 参加者

○住所

1 住吉	27	28.4%
2 川尻	23	24.2%
3 片岡	18	18.9%
4 北区	24	25.3%
5 町外	0	0.0%
6 不明	3	3.2%
合計	95	

○性別

1 男性	89	93.7%
2 女性	5	5.3%
3 不明	1	1.1%
合計	95	

○年齢

1 20歳未満	0	0.0%
2 20歳代	0	0.0%
3 30歳代	5	5.3%
4 40歳代	3	3.2%
5 50歳代	7	7.4%
6 60歳代	57	60.0%
7 70歳以上	18	18.9%
8 不明	5	5.3%
合計	95	

3. 参加者アンケート結果

問1 議会報告会の内容はいかがでしたか

1	よく理解できた	7	7.4%
2	理解できた	68.5	72.1%
3	理解できなかった	10.5	11.1%
4	記載なし	9	9.5%

問2 町の決算認定に関する報告はいかがでしたか

1	よく理解できた	4	4.2%
2	理解できた	69.5	73.2%
3	理解できなかった	12.5	13.2%
4	記載なし	9	9.5%

問3 地震・津波対策アンケート結果報告はいかがでしたか

1	よく理解できた	15	15.8%
2	理解できた	57.5	60.5%
3	理解できなかった	14.5	15.3%
4	記載なし	8	8.4%

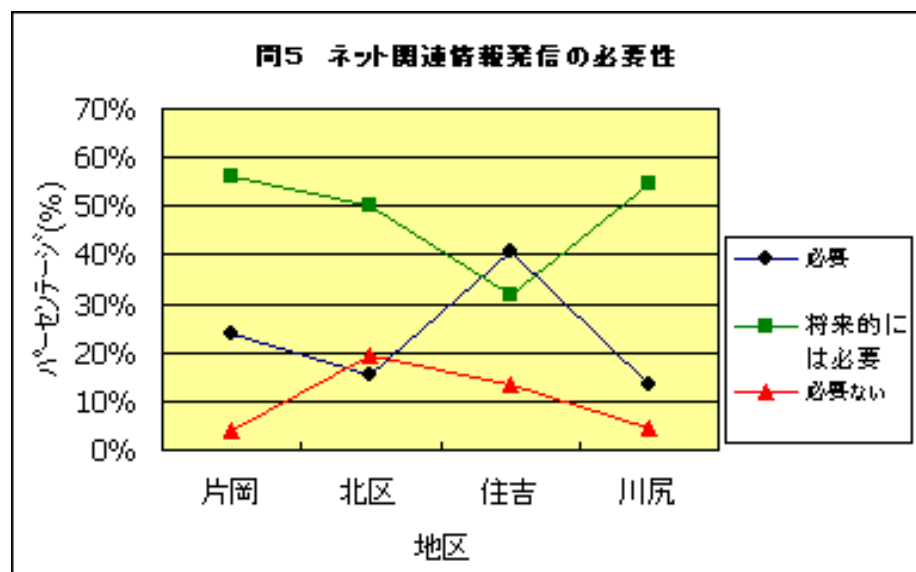
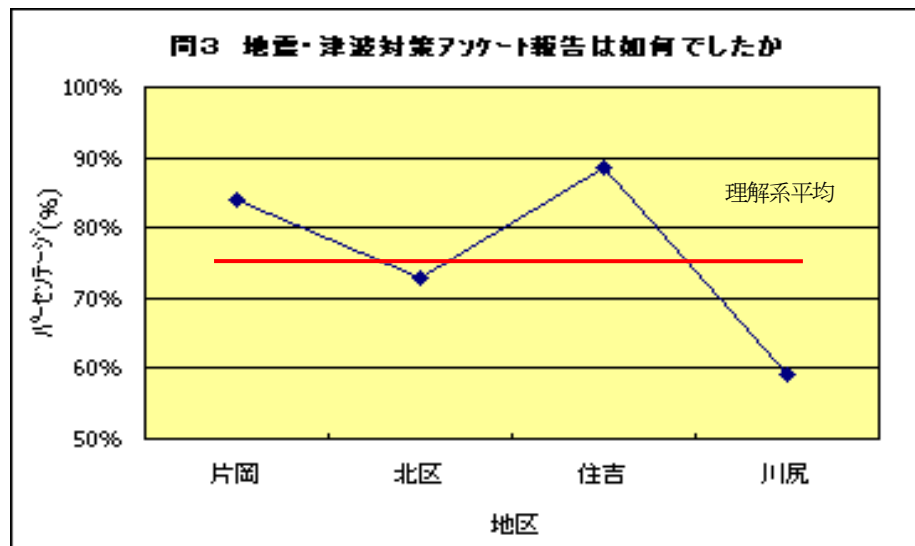
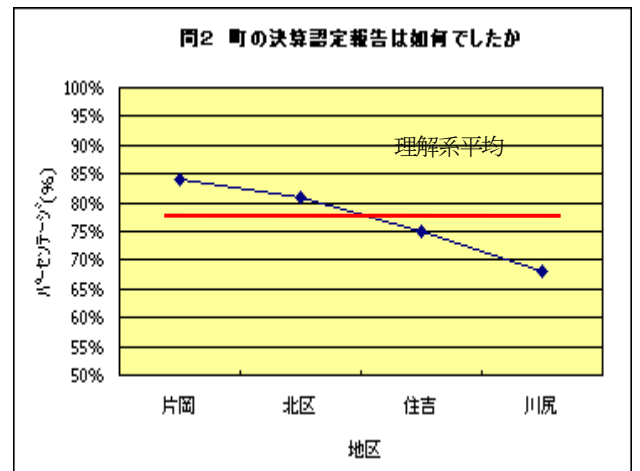
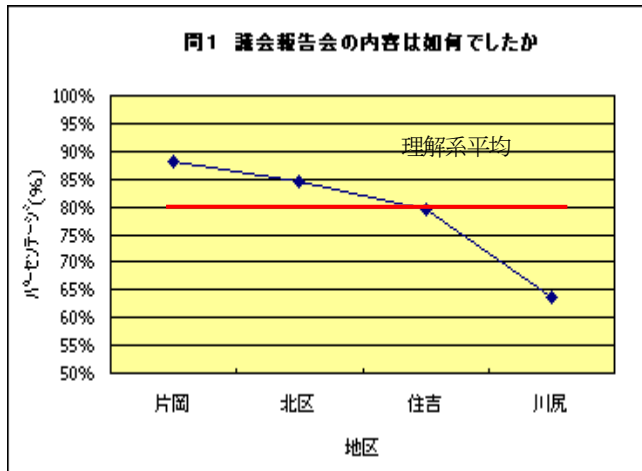
問5 議会の情報発信手段として、

「議会だより」のほかにインターネットを使った

動画配信なども可能と考えられますが、いかがですか

1	必要である	22	23.2%
2	将来的には必要である	46	48.4%
3	必要ない	10	10.5%
4	わからない	9	9.5%
4	記載なし	8	8.4%

議会報告会アンケート グラフ



4. アンケート意見（一部抜粋）

問2. 「町の決算認定に関する報告はいかがでしたか」への意見

○片岡会館（6名）

- ・現状・未来の展開を表示すべき。
- ・予算との比較やムダは無かったのか。
- ・町が重点的に行っている部分の説明がほしい。

○自彊館（4名）

- ・議員定数削減、報酬カット、役場職員給与、賞与大幅引き下げ全国に先がけて。
- ・国民健康保険の積立金額の報告が欲しい。
- ・借金が多い、具体的対策急ぐ。

○住吉会館（6名）

- ・榛原病院の中身をよく知りたい。
- ・具体的な事例を挙げて節約の成果を見たい。
- ・町が重点的に行っている部分の説明がほしい。
- ・吉田町の人口が下がった、3.11の影響か人口推移に注視を。

○川尻会館（8名）

- ・結果の発表があって、23年度についての展開を聞かせてほしい。
- ・民生費について具体的な内容がなかった。
- ・小さな理科事業費がわからない。
- ・土木関係の仕事の進み具合が遅い。
- ・具体的な説明がほしい。
- ・報告書は理解できた。
- ・今後の計画についての話が全くない。
- ・何のための運動公園か理解できない。

問3. 「地震・津波対策アンケート結果報告はいかがでしたか」への意見

○片岡会館（9名）

- ・町議としての対応の考えや対策の進め方を明記すべきである。
- ・アンケート結果を考察して、議会としての方向性を出して、その結論を報告会で説明してください。
- ・榛南幹線を第二防潮堤として設定してはどうか。効果ある高さに建設。
- ・アンケート依頼のバランスが必要である。地区に偏りがあると結論を誘導していると思われる。

○自彊館（9名）

- ・自主防災会役員の兼務ではなく、防災知識の高い専従体制を望む方が多い。是非推進して欲しい。
- ・自主防災会に対して期待が高い、任期2年交代の役員が多く力不足である。知識・技能を持った方を行政で選んで各地区に配置（常任）もらいたい。その人の指導の下で自主防災会役員が動く方がよい。

- ・アンケート結果に基づいて、町としてしっかりした防災計画を立て準備して、地震・津波対策を実施して欲しい。
- ・具体的な対策の実施計画を早く作ってもらいたい。
- ・アンケート結果を無駄にしないよう、議会として出来ることは対策案として発案して欲しい。
- ・弱者対策の問題解決を早急に。

○住吉会館（11名）

- ・結果報告や～の〇%等の報告等に時間が必要で、重要な事か？
- ・アンケート結果を生かし住民の生命を守るため、町・議会・住民の協力が必要。
- ・山八の杉の子の外に、非常階段の早期設置を。
- ・役員だけでなく、一般住民全員に対してアンケートの依頼を。
- ・海拔表示板の取り付けを早く、不備なものは早期に修理を。
- ・中長期的な防災計画の策定を早急に。

○川尻会館（11名）

- ・防災津波タワーに期待するところ、大。
- ・調査アンケートでなく、今何が出来るかを早く進めて下さい。
- ・海拔表示してもらいたい。
- ・川尻地区は避難場所建物が少ない。町指定の場所を確保してください。
- ・避難ビルの1日も早い建設を要望します。
- ・死の灰についての説明をほしい。
- ・1つでも早期実現できるようにつとめてください。
- ・川尻地区は高い建物が少ない。企業の許可を得て避難場所の設置を。
- ・浜丁の住民として身の危険を感じる。浜田区画整理内へ避難所の設置を。
- ・災害後のボランティア活動をする場があれば紹介を。ネットワーク作りが必要。

問4. 浜岡原子力発電所対策について、あなた自身のお考えをお聞かせください。

○片岡会館（21名）

- ・廃炉にすべき。(11名)
- ・原発はある期間でもって中止する。
- ・永久停止が望ましいが、現存する原発は計画通り進めて、順次廃炉方向にする。
- ・安定した電力の維持確保の為、何を代替エネルギーにすべきか課題である。
- ・廃炉と使用済燃料棒の移転は安全が確認されなければ。
- ・100%の安全確保がない限りとめるべき、福島に対応・対策を検証すべき。
- ・代替電力の発掘が先決、それから廃炉とする。
- ・原発中止の方向へ、それまで地震に耐えられることをやる。
- ・将来の安全安心を考えれば、廃炉への町の判断には大賛成である。

○自彊館（22名）

- ・放射能の濃度わからない。安全確保なければ廃炉する。住民投票をする。
- ・廃炉、原発依存度を下げつつ、将来的に廃炉。
- ・町議会として、速やかに永久停止、廃炉決議すべし。

- ・福島原発事故で、安全神話は崩壊しています。放射性物質の汚染は将来に渡って全国的に深刻です。廃炉にして自然エネルギーに移行して欲しいです。
- ・廃炉！中電が行っている対策は安全冷却のためと思うべし。冷却の事故も考えて、町民の安全を守るべし。
- ・原発が絶対安心である事が確認出来るまで永久停止が必要と思う。
- ・国が、地域がという考えではなく、私たちとして（議会として）はどうしたいのか？どうするかという強い意志の元に活動を期待します。
- ・地震・津波で設備は耐えるのか本格的（想定外と言いつけない）検討を加えるように要望して欲しい。基本的には、人間が抑制しきれない。
- ・事故が多すぎる。原発は閉鎖を望む。

○住吉会館（17名）

- ・廃炉を望む。（11名）
- ・福島のようにならないために、町民の安全安心のため、町議会の廃炉の決議を。
- ・原発は結果的に高くなる。
- ・100%の安全は無いが、考えられる対策は持って稼働すべき。電力なしでは、生活も生産活動もできない、代替エネルギーの確保が必要。
- ・反対賛成でもない、停止中の研究をもう少しやる事、電気の節電20%町民が全員できるのか、会社は参ってしまう。
- ・将来的に廃止、子供の安全の視点で議論を。

○川尻会館（16名）

- ・永久停止・廃炉を望む。
- ・今さら遅いが閉鎖が当然。具体策を考える。
- ・安全確保の上での稼働は良いが、代替エネルギーによって電気料が上がるの困る。
- ・原発閉鎖が絶対である。
- ・廃炉の気運が高い。次世代のエネルギー普及も時間がかかる。難しい判断が必要。
- ・後始末出来ないものは、即停止をする。廃炉にしたい。節電に協力する。
- ・町民を守るために廃炉にして。
- ・吉田町は20km以内にある。将来の子供たちに影響ないように廃炉。
- ・東北の子供に甲状腺の異常が出ている。学校給食を震災以前の基準値に。
- ・学校にガイガーカウンターの配布の検討をしてほしい。
- ・廃炉決議を望む。議会は何を悩んでいるのか。

問6. 今後、どのような内容の議会報告会を希望しますか。

○片岡会館（9名）

- ・放射能汚染と対策、食品のベクレル表示の義務化、線量計を買う、子供のセシウム検査、TPPの問題。
- ・議会報告会頑張って下さい。
- ・三星スチール跡地の処理方法の件について。

- ・有意義な会ですが、もう少し町民の参加を促したほうが良い。
- ・原発に対しての知識など内容について、文書などファイルして説明出来るような報告会もほしい。(中電を呼ぶなど)

○自彊館 (6名)

- ・今回の報告は大変良かった。この調査で得られたアンケート結果は、ぜひとも施策立案に役立てて欲しい。
- ・改革、改革といわれて時間がたちましたがあまり進んでいない。一寸ガッカリ
- ・ぜひ討論会、座談会の開催を切望します。地震、津波の話のときに、原発の話や他の話に進まぬよう司会の進行をしてほしい。
- ・議員の意見が聞けないのが残念でした。住民の生命、財産を使命ではないか？「意見交換」の項目がありましたが、おかしいですね。
- ・原子力と災害に関する勉強会に有識者を招いてください。
- ・議会として吉田町の目指す町の姿を知りたい。要はどういう金の使い方をしたのか？ ということです。議会報告会はこれからも続けて欲しい。

○住吉会館 (8名)

- ・アンケートを参考に、議員としての具体的な取組みを聞きたい。
- ・参加している町民がいつも同じ、若者参加を共に工夫を。
- ・アンケートに対して、議会の対策を示すことで議会の見識を示すことができる。
- ・今回参加して、町の様子が良く分かりました。

○川尻会館 (12名)

- ・議員の積極的な意見がほしい。
- ・3回目の報告会。以前は行っていない。それだけでも進歩。今後とも頑張る。
- ・より以上の具体的な発言、報告をやらないと。インターネットを行っても誰も見ない。
- ・特に希望がもてない。
- ・随時報告していただきたい。(防災対策を特に)
- ・町民の財産と健康を守る議会として運営、報告をお願いします。
- ・議員個々の意見をはっきり出してほしい。発表はどんな方法でもよい。
- ・川尻海岸、防潮堤を強く。防潮堤を高くして頂きたい。
- ・地震対策について知りたい。地元の間人として役に立てることがあれば参加したい。
- ・今後の計画を話してほしい。

5. 質疑内容（一部概要報告）

(1) 片岡会館



○町の決算の認定

質問 予算に対する決算はどうであったか。

答え 当初予算以降、歳入、歳出ともに6月、9月、12月と補正予算を組んで、歳出に関しては、4億円ほど財政調整基金に回す事となっている。

質問 歳入、歳出について当初と比べどのくらい増額があったのか。

答え 7億円～8億円ほどの増額があった。

質問 総合運動公園整備の借入金のミスプリントでは。

答え 合計額にミスプリントでした、正しくは1,253,735,001です。

○地震・津波アンケート

質問 アンケートを取って、動向を知りたいのか、統計を採る為に行ったのか、統計学的に調査をしての結果を知りたいのか。

答え 統計学的なアンケートではなく、町民皆さまの生の声を聞くためのアンケートであり、皆さまの声を受け止め行政に働きかける為のものであります。

質問 サンプリングの取り方に問題があるのではないか。

答え 町内全体でアトランダムにやる事が本来であるが、今回は対象を絞って行った。

質問 アンケートの依頼の仕方の基準はどうだったのか。頼み易い方に依頼したのか、人口比なのか、海岸沿いの方を中心に行ったのか。基準は何か。

答え 5月の津波避難訓練の対象地区の方を対象に行った。北区は自治会役員にお願いしました。

質問 同報無線が聞こえない。何度も行政サイドには伝えているが何も変わっていない。

答え あちこちで、同様な話はある。防災ラジオにより同報無線を聞くことができますので、利用をお願いします。

○浜岡原子力発電所への対応

質問 過去の要望書、意見書について返事はあったのか。

答え 返事は帰ってこない。中電については、回答を頂きました。

質問 町長発言の廃炉の意味は。議員も廃炉という方がいるようだが、廃炉の意味は燃料棒が無くなるという事なのか。

答え 新聞報道によれば、町長の廃炉の意味は更地にするというように読み取れる。

質問 町は、放射能測定器の設置、購入の予定はあるのか。

答え 町当局、教育委員会ともに計画予定はないと聞いている。EPZ から UPZ と国の施策が変わり新しい計画が出て来ることも考えられるますので、注視していきます。

質問 学校給食に使う食材の放射能汚染について、早急にチェックするべきであり、悠長な事を言っていないでほしい。

答え 今のところ検査等は行なっていない。今後も、要求をしていきます。

質問 被曝医療体制について、ヨウ素安定剤の備蓄は。

答え 町当局は、備蓄していないという回答をもらっているので、今後、備蓄するよう要請していきます。

質問 土壌、水源の放射能調査はしているのか。セシウム、ストロンチウム等に関して内部被曝が蔓延する可能性があるのが怖い。

答え 町に対して、土壌、水源の放射能調査はしていないことを確認している。今後、町民の安全、安心のため調査、研究を議会として行なっていく。

(2) 自彊館



○町の決算の認定

質問 町税が減っている中で、全体として増えている中身は何ですか。

答え 個人町民税が減少していますが、法人町民税・地方交付税・町債の起債が増加し、全体として対前年比 1.8%の増です。

質問 借入金が平成 22 年度末で 85 億円ありますね、これは何処から借りて何に使ったか。

答え 金額的には臨時財政対策債が 29 億 3900 万円が多いです。次に土木債が 26 億 1300 万円、そして衛生債の 10 億 7200 万円です。

質問 一般会計が 97 億で、大体 1 : 1 でしょ。吉田町は借金が多い。どうやって返すのか。

答え 執行状況について言われるとおり我々も十分理解しておりますので、必要なものに対する起債なのか、そして財源の確保など適正な措置が行われているかなどを、各定例会で質問を行い確認しています。今後も引き続き議会報告を行きたいと思います。

質問 他の町と比べ吉田町は少ない、県で 3 番目とか、それはロジックが違う。

答え 財政の健全化を判断する比率が国から示されています、その各指標から、議会

として吉田町の財政は健全であると判断しています。

○地震・津波アンケート

質問 東大の都司准教授の講義を受け感じたことは、避難のしかたや、どこへ逃げたらよいかわからない。海拔表示や各区に避難ビル、夜間対策、高齢者障害者への対応などいろいろあるが、どのように決めて行くのか。

答え アンケートと同じ様に、頂いたご意見を参考にして当局へ提言していきます。

質問 近隣の焼津市・島田市は、独自にヨウ素安定剤を購入していますが。

答え 議会質疑の中で確認しましたが、国の原子力災害の基準により町として原子力災害に対する想定が無いので、備品や薬剤などは何も用意してないとの報告を受けています。

質問 原子力というのは非常に難しい、大学の専門家をお呼びして町民全体に説明する場を、議会として行ってほしい。

答え 説明は大変重要で必要と考えますので、要望に応えられるように努力します。

○浜岡原子力発電所への対応

質問 廃炉にしたいわけですが、今燃料棒があるわけで燃え尽きるまでは、廃炉に出来ないのですか。

答え 具体的に詳しくありませんので、中電に問い合わせし、後日お答えいたします。

質問 全員協議会の中で話し合い、モニタリングポストを県へ要望すると聞きましたが、その後どうなっていますか。

答え 当局との意見交換を踏まえて、9月議会に発議するか再度協議しました。その結果、2名が賛成であと11名がもう少し協議する意見であったため、見送りました。

質問 町長は廃炉であそこを更地にするとの記事があった。町民の意見を集約して議会の意見書を出してくれと町長は言っているんですよ。何をもたもたしているのですか。そういう問題に対応するのが議会の有り方です。

答え 先ほどの報告で、議会の3つの方向性を示させて頂きました。各議員それぞれの意見を集約したものです、今後頂いた意見を参考にして協議して行きます。

質問 いつまでに結論を出すのですか。

答え いつまでといても、協議の結果です。それらを決めるために協議を行っています。

質問 住み良いまちづくりという前に、住民を守る議員であったほしいわけです。みんなの意見を聞く前に議員個々の考えを、住民に知らせる義務があると思いま

す。原発に対する考えを教えてください。

答え 今日には議会報告会ですので、議会として決まったこと、まとまった意見を報告する会と考えています。個々の意見を聞く場や個々の意見交換として、出前会議を行いますので、最寄りの議員に声をかけてください。

質問 議会の役割は決めること、そして決めたら説明を個々に行う。勉強を一杯して議会が共通認識を持つように、個々の議員が意見を言わないと駄目です。自分はどう考えるといえる報告会を増やしてほしい。それに耐えられる議員に成ってほしい。それが町民の意見だから。

答え ありがとうございます。議会報告会では、個々の意見を聞かれても行わないと決めました。膝を交えて身近で意見交換する場として出前会議を設けてありますので、是非そちらに申し出て頂きたいと思います。

○その他

質問 三星跡地の借入金 12 億 5300 万円が、平成 14 年から平成 24 年度で終了すると、あそこは何になっているのですか。

答え 当局は、今住吉工業団地として用地売却に向け活動中です。

質問 普通ならそこから収益が上っているわけです。けれど 10 年かかって、ただ税金から払っている。今、大津波の現状を目の当りにして、あそこ進出する企業はありませんよ。議会としても何かを考えて提案して、有効活用できるようにして頂きたい。

答え 町は売却という形で企業が進出させていただくように PR 等しています。様々なご意見を参考にさせて頂きながら、有効利用で財産が無駄にならないようなたちで、議会としてチェックを行っていきたいと思います。

(3) 住吉会館



○町の決算の認定

質問 今後 5 年間の税収予想は出ておりますが、今非常に厳しい情勢に入って非常に大変じゃないかと思えます。そんな中、借金が非常に少なくなることはないと思うわけですが、その点は如何ですか。

答え 広報で出た金額は、返済予定が決まっているわけで減ります。22 年度も 7 億返して 5 億借りているわけですが、その金額が減っているわけですが、あの表には新しく借りるという前提が入っていません。

質問 特別会計の所で、歳入・歳出ということがありますが、この中には借入金がありますか。

答え 借入の関係ですが、水道事業で約 32 億 8000 万円、公共下水道で 69 億円でありますので、全体を合わせますと約 190 億超すくらいとなっております。

質問 2 年前に駿河湾地震で公共下水道関係でかなり修理費がかかったと思うのですが、どのくらいかかっていたのか。

答え 8.11 の時ですね、公共下水の埋設したところの陥没やマンホールが突出など起きました。補正予算を組み直したわけですが、約 2 千万円です。

質問 決算の質疑内容は。

答え 一般会計認定は、連合審査という形で全議員が款ごとに審査するという形で進めています。22年度の主な質問として、自立支援施設の運営がしっかりされているかどうかとか、カムカム補助金がしっかりと運営されているかどうかとか、小さな理科館の利用は今後どうするのかなどの質問が出ました。

質問 下水道の関係は非常にお金がかかると思います、新設と老朽化と、それぞれに対する事業費がかかって経費が膨大になってくるので、公共下水道はそろそろ見直さないといけないかなと考えています。

答え 当然、事業を進めていくに当り、検討するというのも来るとは思いますが、今の計画では全町公共下水道を入れるということで考えております。

○地震・津波アンケート

質問 町民の意見を広く集めて、意見を知り政策に生かす姿勢はありがたいと思いますが、今回のアンケート対象者は、自治会役員や組長ですね。役員さんだけでなく庶民の方たちを、集中的に対象にしてとっていただけたら、もっと今回と違う意見が出たと感じがします。

答え 一般町民の方々の所に伺うと、時間がかかるということ、統計も大変ということで今回は、自治会を通して協力をお願いしたということで、このような形になったということです。

質問 各地域でどういう施設をほしいかという時に、町が一括して画一的ではないと思います。住吉地区ではどんな避難施設を何処へどういうものを、川尻は川尻、北の方は北の方で地区ごとに案がある。また、地区にはいろいろな方がおられて、専門的な知識を持っていろいろな案があると思う。議員さんたちが、住民を巻き込んで地域ごと特色ある津波防災の対策を、その地域の知恵を集めて防災施設に生かしていただくようなシステムを作っていただけたらありがたいと思います。

答え 5月21日の県下一斉の津波避難訓練を踏まえて行ったアンケート対象でしたので、北区の方は少なく16名でした。主に住吉、川尻地区を主体に行いました。ご意見のような多くの方々の考えを伺うために、今回の議会報告会で結果報告をしていますので、今後の議会活動の参考にさせていただきます。

○浜岡原子力発電所への対応

質問 議会の中で皆さんがいろんなことに対するご意見を言って頂けるのは、ありがたく思っています。しかし、議会の皆さんが、住民の声をどういう形で集約するかというところが一番肝心なことではないか。

答え 皆さん方の声を聴き、それを町政に反映させるのが仕事でございますので、皆さん方の声を入れて発言していきたいと思っておりますので宜しくお願いします。

質問 この生の声を町政の方にぜひ具体的に反映いただきたいと切に思います。そのために行政の姿勢、認識、議会の防災に対する意識、それから全員の皆さんの一致した姿勢をほんとに述べてもらいたいと思っております。

答え 皆さん方のご意見を集約したうえで協議し対策をとっていききたいと思っておりますのでご理解をいただきたいです。意見をいただきまして、再度、我々は重い責任を自覚しております。

質問 浜岡原発の問題については防災という観点よりも、自分で作ったものを、それに対して危害を加えようとしている、吉田町に長く安心して住み続けたいと誰でも思っておりますので、この浜岡原発をぜひ早く無くすということで議会が決意をさせていただきたいと思っております。また、中部電力なり、浜岡原発について、議員さんたち中心になって場を設けていただいて、直接住民が浜岡原発なり中電に対して意見を言う機会をぜひ早急に設定させていただきたいと思っております。

答え 大変貴重なご意見をいただいて、これも持ち帰って検討させていただきたいと思っております。

質問 私は福島放射能の問題について、牧之原市は、放射能を測定する機械を購入したそうですが、吉田町は給食センター等へ放射能測定機械の購入ですとか必要性について、どのように考えられているのかと思います。

答え モニタリングの放射能測定は、議会として中部電力の方にお問い合わせに行きましたが、県との兼ね合いなどあり決まっておられませんので、今のところ予定は聞いておりません。

質問 牧之原市議会は、「福島第一原子力発電所と同様の事故を想定し、こちらの命を捨てる覚悟をもって、これまで浜岡原発を受け入れてきたわけではありません、万が一の事態が生じた場合その被害を受けて困るのは私たち自身です、だからこそ国や県が決めたものを容認しているという、これまでの地方自治体のスタイルを変え、私たちが判断していかなければならないと考えます」と表明した。議会特別委員会を開いて、公聴会を開いて皆さんの意見を聞いて、どういう議会にしたらいいかっていうことを真剣にと討議された結果だと思います。ぜひ、永久停止の決議をしていただきたいと思っております。

答え 議会の中でも、現在自由討論の中で粛々と議論を行っているわけです。このように住民のご意見をいただけると、皆さんからの声を糧にして、我々議会も住民の代表として頑張ってやらなければと思っております。

(4) 川尻会館



○町の決算の認定

質問 財政調整基金が12億円あるが利息はどのくらいあるか。

答え 結構、出し入れしている。数十万円ではないか。

質問 職員の給料はどこに入っているのか。なぜ細かい数字を出さないのか。

答え 各歓ごとに入っている。22年度決算では、給料が6億4600万円、職員手当等約5億円です。職員の給料は年1回、公表することになっていて「広報よしだ」に載っています。

質問 22年度の決算を見て、町長と職員がやってきた結果だと思う。

議員の皆さんは、ここをああしたらとかの思いはないのか。

決算を見て、直すところを指摘するのが議員ではないか。

答え おっしゃる通りです。我々も連合審査を行い、決算書を見て問題点を指摘し、来年度予算に生かすよう一般質問や来年度予算案にみなさんの声を提案していきます。来年度からは予算議案について議会報告会を行いますので、その時は詳しい内容で報告していきます。

質問 街路整備事業の榛南幹線や東名川尻線はいつになったら完成するのか、早く作らなければ税金の無駄ではないか。

答え 県などの補助金などをあてているので一度にやるのはむずかしい。
事業は計画的にすすめています。

質問 東名川尻幹線はいつ完成するのか。

答え 県は平成 25 年度中の完成を目指しています。

○地震・津波アンケート

質問 大井川の堤防は何メートルあるのか。遡ることが心配ではないか。

答え 大井川は国の管理になっている。議会としても調査していきます。

質問 津波についてはみんなが心配している。いつまでに対策を立てるのかハッキリ
してほしい。避難所を早くつくって欲しい。中央小学校をなんとかして欲しい。

答え 議会としてみなさんの要望を提案していきます。

質問 いつまでにやるのかをハッキリして取り組んでほしい。

答え わかりました。

質問 川尻、住吉の人は津波の心配をしている。建物の調査をしたようだが、実際に
そこに逃げられるのかわからない、実行してほしい。

答え 先日、委員会として焼津と御前崎、牧之原の実情を調査してきました。
海拔表示や避難ビル協定など具体的に進めています。吉田町に参考になる点を、
当局に提案していきます。

質問 町のハザードマップはいつできるのか。

答え 11 月 20 日を目途に完成を目指していると報告を受けています。

質問 中央小学校の海拔は何メートルか。

答え 海拔 7 メートルです。

質問 川尻会館の屋上には上がれるのか。

答え この会館は外階段がついています。保育園児が優先して避難することになりま
す。

質問 住吉の港の防災センターは外階段が狭く安全性はどうなのか。

答え 防災センターが建設された当時と現在の状況は全く違うので、見直しを含め検
討されると思われま。

○浜岡原子力発電所への対応

質問 原発について、意見書をあげたようだが返事はもらっているのか。

答え 4 番目の意見書は県から回答書をもたらえた。中身は国の政策だから県としては
回答できないというものでした。それ以外の返事はありません。

質問 牧之原市では浜岡原発の永久停止の意見書を出した。吉田町の議会も援護射撃すべきではないか。

答え 全員協議会で話し合っていきます。3つの方向性は出ているので、今しばらくお待ちください。

質問 町は給食など放射能の調査をしているのか。

答え 横浜市や浜松市は、市民からの声を受けて調査を実施しているようです。吉田町は、現在のところ調査していないので、今後、議会として要望していきます。